

【広報】 鮫川村広報紙 さめがわ

12

2005 No. 620
平成17年12月1日発行

特集

「手・まめ・館」から
鮫川の元気を発信！
村農産物加工・直売所「手・まめ・館」がオープン



■行政情報

平成18年度保育園入園児童募集 ほか

■ほっとニュース

芳賀文雄さんが旭日小綬章を受章
第8回交通安全東白川地方大会 ほか

[表紙写真]
さめっ子フェスティバル
(11月19日/14pに関連記事)



買い物客でにぎわう直売所

●特集

「手・まめ・館」から 鮫川の元気を発信！

村農産物加工・直売所
「手・まめ・館」がオープン

村農産物加工・直売所「手・まめ・館」が、
11月6日にオープンしました。

「手・まめ・館」には、村の人たちが「まめ」に
作った農産物や加工品など村民の「元気」が集
まります。

今月は「手・まめ・館」を紹介します。

施設の名称 鮫川村食と農の学
習施設、農産物加工・直売所
「手・まめ・館」

施設の位置 鮫川村大字赤坂中
野字巡ヶ作116番地

主な施設 建床面積…475.25平
方㍍(豆腐加工室26.00平方
㍍、納豆加工室14.00平方㍍、
直売施設84.60平方㍍、食堂・
体験室82.04平方㍍、食品加工室48.00平方㍍)、敷地面積…4,151
平方㍍

事業費 58,134,090円(助成金3.6%、県補助金46.5%、過疎債
37.5%、一般財源12.4%)



める「豆で達者な村づくり事業」
の拠点施設として、旧鮫川幼稚
園舎を改築して整備されました。
施設は、建床面積が四百七十
五・二五平方㍍で、村内産の農
産物・加工品、工芸品が並ぶ直
売所のほか、食堂、豆腐・納豆
加工室、食品加工室などで構成
されています。また、敷地内の
一角には遊具を設置。子どもた
ちがのびのびと遊べるスペース
となっています。

村が準備を進めてきた「鮫川
村食と農の学習施設、農産物加
工・直売所『手・まめ・館』(以
下「手・まめ・館」とします)が
このほど完成し、十一月六日に
開所式とオープニングイベント
が開催されました。
「手・まめ・館」は、村の基
幹産業である農業の振興と、高
齢者の健康づくり・生きがいづ
くりから自立する村づくりを進

直売所・食堂・加工室
などを整備



「手・まめ・館」ののれんをかける大楽村長と名付け親の
関根由美子さん(右)

ここでは、「手まめ館」の食堂に設置したアンケートの中から、これまでに寄せられた意見をご紹介します。



広々とした食堂内

- 野菜がたくさん入っていておいしかった。
- イスとテーブルに木の温もりが感じられて良いです。
- 地元産の野菜を使っていることをもっとPRしてはどうか？
- 豆腐料理を増やしたらどうでしょうか？
- 店内が少し寒そうに感じます。
- もっと献立を多くしてほしい。
- 単品の数がもう少しあったらいいと思います。
- テレビを見ましたが、お年寄りがやりがいをもって働ける機会を作ったことが一番素晴らしいことだと感じました。
- 村の活性化を心から応援します。
- こんにゃくがとてもおいしく、豆乳も味がしっかりしていてどこよりもおいしかったです。
- こんにゃくを使った料理があったらいいと思います。
- 一品一品心がこもって作られていると感じました。



上…直売所内には村内産の豊富な農産物がそろいます
下…壁には会員の顔写真がズラリ

また、直売所内の壁面には、「手・まめ・館」会員の写真が並べられ、生産者がひと目で分かるようになっていきます。「顔」の見える販売で、安心をお届けします。

村内産の野菜を使って おふくろの味を提供

直売所隣には食堂が整備されました。食堂で出される料理は、「おふくろの味」にこだわって作られ、毎日メニューが替わります。食材には、直売所で取り扱う村内産のものが使われています。

営業時間は、午前十一時から午後二時までが昼食を提供するランチタイム、午前十時から十一時、午後二時から四時までは豆乳やコーヒーなどを提供するカフェタイムとなっています。

「手・まめ・館」の役割

「手・まめ・館」には、村のさまざまな「元気」が集まります。村内で作られたものを村内で消費する「地産地消」はもちろん、地域経済の活性化や食農教育の場、都市との交流の情報発信地として、「手・まめ・館」が果たす役割には大きな期待が寄せられています。

生産者を中心とした 運営協議会で運営

「手・まめ・館」は、「手・まめ・館」運営協議会（会長・大楽村長）が運営しています。協議会は、直売所に出荷する生産者（「手・まめ・館」会員）、村および商工会で組織され、これまで五十一名が登録されています。「手・まめ・館」では、農産物などの受託販売や食品の加工・販売、食農教育などの事業が行われます。

広々とした直売所には 約110点が勢ぞろい

直売所内には、村内でとれた野菜や果物などの農産物をはじめ、わら細工などの工芸品、漬物などの加工品が並びます。「豆で達者な村づくり」事業でお年寄りが栽培し、「低農薬・減化学肥料」にこだわった大豆から作られる豆腐や豆乳、きな粉のほか、じゅうねん（エゴマ）を加工したタレや油などの特産品もそろいます。



上…直売所にはふれあいがいっぱい/左…投げ餅でオープンを祝う参加者



11月6日に開かれたオープニングイベントは、奥州鮫川太鼓保存会（芳賀良雄会長）による和太鼓の演奏で幕を開け、大楽村長があいさつ。続いて「手・まめ・館」の名付け親となった関根由美子さん（赤坂西野字荻ノ沢）に大楽村長から名付け親大賞の賞状が手渡されました。

また、投げ餅や試飲・試食コーナー、手のひらスタンプコーナー、アマチュアバンド（案山子）の演奏など多彩な催しが行われ、「手・まめ・館」のオープンを祝いました。

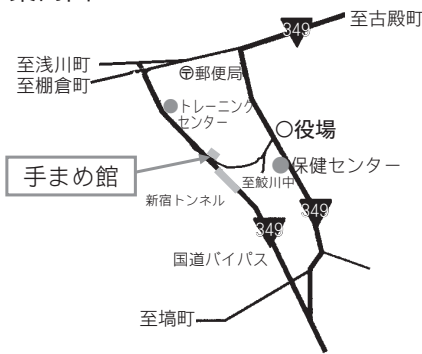
鮫川村農産物加工・直売所 「手・まめ・館」

■営業日
正月(1月1日～3日)を除く毎日

■営業時間
【農産物等直売所】
4月～9月
午前9時～午後7時
10月～3月
午前9時30分～午後6時

【食堂】
ランチタイム
午前11時～午後2時
カフェタイム
午前10時～午前11時
午後2時～午後4時

■案内図



■ホームページも開設しました!
内容●手・まめ・館の案内や生産者情報、インターネット注文、掲示板など
URL

<http://temamekan.com>



■問い合わせ
村農産物加工・直売所
「手・まめ・館」
電話 49-2556
FAX 49-2445



左から飯塚ひろみさん(緑のふるさと協力隊)、三瓶さん、阿久津さん、藤田さん、蛭田さん、本郷さん

■「手・まめ・館」スタッフ紹介

みなさんのご利用をお待ちしています。

調理・レジ担当

三瓶奈緒美さん
さんべい・なおみ
(赤坂西野字茅)

村の人だけでなく、いろんなところからお客さんが来てくれて、鮫川をもっと知ってもらえるような店づくりをしたいですね。
笑顔を決やらず、みんなで力を合わせていい雰囲気を作りたいと思います。

レジ担当

阿久津妙子さん
あくつ・たえこ
(西山字折戸)

商品の鮮度のチェックを欠かさず、お客様が買いやすい陳列を心がけています。
笑顔での対応はもちろんのこと、レジやお釣りなどの間違いのないように注意し、鮫川村のPRもしていきたいと思っています。

調理担当

藤田敏江さん
ふじた・としえ
(渡瀬字関口)

お客さまに笑顔で接し、いつもおいしいと言ってもらえるように料理を作りたいです。村内はもちろん村外の人にも寄ってくださることを期待しています。
みんなで仲良くまわってがんばっていきますのでぜひ来ててください。

調理担当

蛭田光枝さん
ひるた・みつえ
(赤坂東野字広畑)

第1に清潔感に注意し、笑顔を大切にしてお客様に接しています。
村内産の野菜を利用しておいしいものを日替わりで用意しています。これからの季節には温かいものを用意しますので、ぜひ食べに来てください。

調理担当

本郷訓子さん
ほんごう・のりこ
(西山字落合)

「手・まめ・館」に来て、心が和んでもらえるような雰囲気づくりと、村内でとれた野菜を使って、お客さまに喜んでもらえるようなものを作りたいですね。
「また来たい」と言ってもらえるように頑張りたいと思います。

「手・まめ・館」は、お年寄りが栽培した大豆を加工した豆腐や味噌、農家が栽培した農産物を販売する施設として整備したものです。
農家の人たちは出荷するほどの量は作れなくても、自分のうちで食べる分以上に作るため、それらを活かせる場所と、買う側も安全な



誰もがほっと
ひと息つける場所
それが
「手・まめ・館」です

村農林課 振興公社準備室
本郷まさ子室長
Masako HONGO

農産物を安心して買うことができる場所があればいいと考えました。
ここ「手・まめ・館」には、村内産の安全な農産物のほか、さまざまな加工品がそろっています。また、ほかの直売所と違い、村内産の農産物を使った料理を日替わりで提供しています。豆腐を使った

料理などはここでしか味わえないものです。体験スペースは子どもたちの食育の場として利用し、食べ物大切さを伝えていきたいと思っています。
「手・まめ・館」は、誰もがふっと立ち寄り、ひと息つけるような憩いの場になりたいと考えています。
小さい子からお年寄りまで気軽に立ち寄れる雰囲気を作りたいです。
すね。小中学生のちよつとした待ち合わせ場所(送り迎え)としても気軽にご利用ください。
また、村外に村の良さをPRすることはもちろん、村民が村の食べ物良さを、住むことの良さを直せるきっかけになって、ここに住む自信につながっていくことを期待しています。



「手・まめ・館」には、豆腐・納豆加工室を整備。村内産大豆100%で作られる「達者豆腐」は、1日150丁限定で製造・販売されます。(豆乳・おからもあります。)

年末調整・確定申告には 国民年金保険料の納付証明書 が必要になります

11月初旬に証明書を発行

国民年金保険料は、納付した全額が所得税・市町村税などの社会保険料の控除の対象となりますが、これまで（平成16年分）の年末調整や確定申告の手続きでは、納付した保険料を証明する書類の添付は必要ありませんでした。

しかし、所得税法などの一部が改正され、平成17年分の所得申告から国民年金保険料を社会保険料控除として申告する場合に、一年間に納付（納付見込みを含みます）した国民年金保険料を証明する書類の添付が義務付けられました。

した国民年金保険料の額を証明する「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」（はがき）が、社会保険庁から毎年11月初旬に送付されることになりました。

証明内容は、本年1月から9月末日までに納付された国民年金保険料額と、年内に納付が見込まれる場合の納付見込額です。

年の途中に加入した方は2月初旬に送付

年の途中から国民年金に加入した場合など、10月以降に初めて保険料を納付する方については、翌年2月初旬に同様の証明書が送付さ

れますので、年末調整または確定申告の手続きの際は、必ずこの証明書や領収証書を

添付してください。
家族の保険料を納付した場合も控除対象に

国民年金保険料は、被保険者本人だけでなく、その世帯の世帯主および配偶者も連帯して納付する義務があります。世帯主または配偶者として家族の国民年金保険料を納付した場合は、その納付額の全額が納付した方の控除対象（所得税、市町村税など）となります。

このような場合は、年末調整などの手続きの際に自身自身の社会保険料の額と合計して申告してください。その際、家族の分の証明書も申告書に添付する必要があります。

■社会保険料（国民年金保険料）控除証明書の例

社会保険料申告の際は、この部分を添付等してください。

●問い合わせ
村住民福祉課住民係
☎49-3112
福島社会保険事務局
白河事務所
☎0248-27-4165

一緒に遊ぼう！保育園で 平成18年度保育園入園児童募集



「保育園って楽しいよ」

平成18年4月から鮫川保育園へ入園を希望する児童の申し込みを次により受け付けます。

●保育園の概要

所在地：赤坂西野字酒垂3番地3（さめがわこどもセンター内）

定員：120名

対象児童：乳児（6カ月以上）から4歳児まで（5歳児は幼稚園就園児として）

開園時間：午前7時～午後6時30分

●入園基準（児童の保護者が次のいずれかに該当し、家庭内で保育ができない場合）

- 1 日中に家庭外で仕事をしている場合
- 2 日中に家庭内で家事以外の仕事をしている場合
- 3 母親がいない場合
- 4 母親が出産または病人

障害者などの場合

5 病人や障害者などの看護をしている場合

6 家庭が災害にあった場合

●受付期限 12月15日（木）

●受付場所 村住民福祉課福祉係またはこどもセンター

●手続きに必要なもの

- 1 保育園入園申込書（住民福祉課またはこどもセンターにあります）
- 2 印鑑
- 3 母親の就労状況を証明する書類（勤務・内職をしている場合は事業所の証明。自営業・農業などの場合は地区民生委員の証明）

●その他 平成17年度から引き続き入園を希望する児童については、申込書の提出は必要ありませんが、母親の就労状況を確認するため、該当者へは別に通知します。

●問い合わせ
村住民福祉課福祉係
☎49-3113
さめがわこどもセンター
☎29-1010

1

NEWS

芳賀文雄さん(前鮫川村長) 旭日小綬章(旧勲四等)を受章

前村長の芳賀文雄さん(赤坂中野字巡ヶ作)は、五十年以上の永きにわたり鮫川村の発展に貢献した功績が認められ、このたびの秋の叙勲で「旭日小綬章」を受章されました。

芳賀さんは昭和四年五月一日生まれの七十六歳。昭和二十二年に鮫川村役場に奉職以来、三十年間にわたり地方自治の発展に貢献されました。昭和五十二年五月から六十二年二月までの九年十月月、村収入役を務め、健全な財政の運営に努められ、

昭和六十二年四月に鮫川村長に当選以来、平成十五年八月までの十六年四月月の永きにわたり鮫川村の発展に尽力されました。勲章の伝達式は十一月四日、

福島市の知事公館で行われ、八日には皇居内で天皇陛下に拝謁し、感激も深く帰郷されました。このたびの受章に対し、芳賀さんは「健康で長い間仕事できたのは、村民みなさまの温かい理解とご協力のおかげです。村民を代表して受章する気持ちです」と喜びを語ってくれました。



2

NEWS

交通事故のない地域を目指して 第8回交通安全東白川地方大会

第八回交通安全東白川地方大会は十一月九日、農業者トレーニングセンターで行われ、東白川郡内の交通関係者約三百五十人が参加しました。

開会に先立ち行われたアトラクションでは、福島県警察音楽隊が「マツケンサンバII」などのおなじみの曲を次々と披露。大会では、交通事故犠牲者に対する黙とうが行われた後、大会



会長の大薬村長があいさつし、交通安全に功績のあった個人・団体に対する表彰が行われました。また、鮫川小六年の蛭田耶子さん(田野上)と棚倉地区交通安全協会高齢者支部鮫川分会長の藤田一夫さん(本坂)がそれぞれ立場から交通事故防止に対して意見を提言。続いて大会宣言が採択され、交通事故のない社会を創ることを誓いました。

上・交通功労者に対する表彰/下・県警音楽隊のアトラクション



3

NEWS

むし歯のない子は5人 10月20日実施の3歳児健診

十月二十日に村保健センターで実施した三歳児健診で、むし歯がなかったお子さんは、受診児十人中五人でした(写真)。

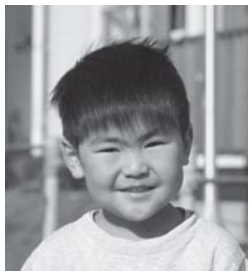
次回の三歳児健診は、二月二十三日(木)の予定で、平成十四年八月から十一月までに生まれたお子さんが対象となります。



ひなた 陽くん 舟木 陽くん ①赤坂西野字石ノ花/②父・正博さん、母・由香里さん/③朝晩の仕上げみがきをかかさずやりました。



ほし ともか 星 朋香ちゃん ①赤坂西野字藪/②父・徹さん、母・喜子さん/③夜寝る前の仕上げみがきを必ず行いました。



たいせい 大生くん 薄葉 大生くん ①赤坂中野字東前田/②父・正勝さん、母・真澄さん/③食べる物を制限するのは難しかったので、毎夜の仕上げみがきは入念にやりました。



ゆうな 結菜ちゃん 白石 結菜ちゃん ①住所/②両親/③お子さんが虫歯にならないためにがんばったこと



ゆな 夢奈ちゃん 中川西 夢奈ちゃん ①石井草字森ノ前/②父・悠さん、母・ミユキさん/③寝る前の歯みがきをがんばりました。

①住所/②両親/③お子さんが虫歯にならないためにがんばったこと

4

NEWS

高原の秋を満喫 第18回高原の鮫川うまいもの祭り



さまざまな催しでにぎわったうまいもの祭り

第十八回高原の鮫川うまいもの祭りは十月十六日、鹿角平観光牧場で開かれ、村内外から大勢の家族連れや職場のグループなどが訪れました。

会場には、特産品の青空市や試飲・試食コーナーなどが設けられたほか、特設ステージでは第三回全日本干し草投げ選手権大会や干し草のステージ歌合戦など多彩な催しが繰り広げられ、参加者らは高原の秋を思い思いに満喫していました。

5

NEWS

江竜田の滝で勇壮な音色響く 第2回江竜田の滝和太鼓ライブ



滝をバックに力強い演奏が行われた和太鼓ライブ

奥州鮫川太鼓保存会(芳賀良雄会長)主催の第二回「江竜田の滝和太鼓ライブ」は十月三十日、江竜田の滝で開かれ、大勢の人で賑わいました。

二回目の今年は、奥州鮫川太鼓保存会のほか、塙町のエイサー太鼓、埼玉県の小山流津軽三味線の演奏も行われ、聴衆を魅了しました。

会場内には焼きそばやとん汁なども並び、訪れた人たちは晩秋の一日を楽しんでいました。

みんなのページは、みなさんが参加するページです。身近な情報をお寄せください。
〒963-8401
TEL 0247-49-3111
FAX 0247-49-2651
Eメールアドレス soumu@vill.samegawa.fukushima.jp
総務課総務係
「広報さめがわ担当」まで

さめがわ
はたらく
畑楽協力隊だより Vol. 8
緑のふるさと協力隊・飯塚ひろみさんの
鮫川村体験記です。

鮫川村の底力

11月6日、直売所「手・まめ・館」がオープンしました。毎日、そこでお手伝いをさせて頂いています。オープン当日、続々と集まる品々を見て、改めて鮫川村の自給力を感じました。

ここへ来る前の研修で、東北の農山村を訪ね歩いておられる仙台の結城登美雄先生が「日本は自給率40%だが、その40%の多くを生産しているのは東北の村々であり、1億3千万人の食糧を賄っている東北にはそれだけのすごさがある」というようなお話をされました。また、それは「人間力でもある」ということでした。まさにそれを感じたのです。ここは、スーパーマーケットではありません。鮫川村産の手づくりのものだけが並んでいるのだから、鮫川村の人間力の目に見える形とも言えます。

現代人の食生活の乱れから、和食が見直されてきている昨今ですが、料理は和食でも中身はほとんど外国産の材料であることも珍しくありません。大事なのは中身です。一番良いのは自分で畑を耕すことだけれど、それが可能でない場合はぜひ「手・まめ・館」を利用して頂きたいです。村内産の野菜が食べられることは本当に幸せな事であると思います。(文・飯塚ひろみ)



情報の泉



俳句

- 第58回村文化祭東白農商高鮫川分校生徒作品紹介(奥の鮫川俳句会)
- 【天】秋風に背中おされて帰る道 内田 希
- 【地】別れてはふり返る影秋の夜

広報 文芸

俳句

※第58回村文化祭作品
【村長賞・天】 面影が揺れる秋
菊の白 山本五十鈴
【村長賞・地】 朝顔の種仕舞うと
ころ決めかねる 鈴木米子
【村長賞・人】 九月尽 笑いを漏ら
す羅漢像 高杉 正生
【議長賞】 虫の声育つ 薄井 日暮
【教育賞】 書き出しの一字蹟く
冬の雷 松本志津子
故郷はきばらずしやる炬燵かな
追憶をたぐり寄せたる通草かな
矢部 正子
老人がきれいに残す秋刀魚骨
斎須 信子
コスモスや検診結果念を押す
中井 恒峯
オニヤンマ追いかけているおさげがみ
山本 恵子
黒々と田に残りたる刈り機跡
小松ハル工
さえずりや庭木を移り隣家まで
隣家まで 黒田 寿香
百舌鳥鳴くや豆腐買いく手まめ
金沢 暁舟
朝焼けの空にあふれる鯛雲
松本 精一
前田 縫子

短歌

百一の作況指数間々ならず苛立つ
農家秋の長雨 松本 一郎
曇り空富士山見えず残念と車窓に
眺め東名を行く 前田 喜三子
青畳敷いたる様に伏す稲田追いつ
ちかけて雨降り続く 藤田 千代子
見慣れたる前山傾(なだり)朱に燃
える亡夫と植えたる彼岸花咲く
稲刈りの済みて安堵の秋日和泥に
まみれしバインダ―洗う 杉山 磯子
若荷採るわが手を待ち 関根 キヌ子
忽ち刺して逃げて行く 田中 志乃
村起こす大豆と思えば此れ位苦に
はならぬと刈り取り励む 北條 平
一夏の涼呼び終えし風鈴は役目果
たして箱に収まる 鈴木 クニ
秋深み庭の枯れ花片付けるまた来
る春を吾は信じて 岡部 シゲ
信念と感謝の気持ち忘れず老を
楽しく惚けず生きたし 赤坂 朝子
湯の宿は女将の笑顔に迎えられ旅
の疲れも一度に消える 水野 ミチ

野次馬の声は聞くまいひたすらに
通るを念じゲートを狙う 関根 フク
老いづきて忘れがちなる常日頃探
す時間の多くなりたり 関根 ヨネ子
八十路なるわれの散歩を薄穂は手
を振る様に揺られて見送る 齋須 ミヨ
雨上がり草紅葉せる畑隅に茄子は
紫紺の光りを弾く 芥川 龍之介
若き日の苦勞の貯金今戻したまに
はいいさ湯治にゆくも 芥川 龍之介
孫が漸く大学目指すわが子らに果
たせなかつた夢も託されて 坂本 雪絵
神主さん来るを待ちつつ 供養塔に
纏わる話の花咲かせいる 前田 初
秋彼岸花露そつと手に つけて亡き
子を偲ぶ碑に参りつつ 須藤 マツ子
何とかなる人生なりと友はいうそ
の楽天がわれにも欲しき 蛭田 光江
銀飯を腹一杯に食べし夢見たよと
眠りし友は還らず 蛭田 浩市
短か夜の如きこの世に間借りして
七十六年出来ることはせし 芳賀 常夫
「石ころは当つた分だけ丸くなる」
心の友としつ生きて来ぬ

花好きが花を手入れの朝夕にいつ
しか染まる花に心も 遠藤 秀
老ゆるとも仕事の夢は捨てられず
今朝も研ぐなりわが鍬鎌を 大平 太平
家族らといのちの絆しかとして生
きる小庭に福寿草咲く 吉田 世津
香を焚き耳を澄ませば墓碑冴えて
聞こゆる如し亡き母の声 齊藤 平四
痛む脚引きずり乍ら秋分の墓碑に
供えぬ野の花一輪 齊藤 平四
汗しつ草除やりし道端の野菊は
咲きぬ香に匂いつつ 鈴木 俊子
今も昔も変わらぬ盗汗をして働く
農にしろす生甲斐 岡部 一
この朝も掃かずに置くか金木犀散
りたる花の匂いのしるく 鈴木 一三子
深山にて季の茸を見つけた日忘れ
られない胸のときめき 水野 珠子
七十路の一人の坂を顧みる仄かと
光れり苦難の跡は 関根 瑞恵
草むらに秋の香りを放ちつつしめ
じは出でぬ茎太くして 柿沼 鯉乃

森 元良さん

Motoyoshi MORI

もり・もとよし ●昭和27年3月生まれ。赤坂東野字遠ケ電在住。東白川郡森林組合勤務。遠ケ電若衆会会長。趣味は秘湯めぐり。



黄金崎不老不死温泉(青森県西津軽郡)にて

村民 [随想] リレー ⑧ 秘湯浪漫

十数年来愛読している雑誌に旅行読売という一冊の週刊誌があります。コンビニなどで立読みをします。それがこの本との出会いです。それ以来現在では年間購読申し込みをしており、毎月末に送付されてくるのが楽しみの一つです。そしてこの週刊誌との出会いこそが私を秘湯の旅へと気持ちを高ぶらせたい要因の一つです。

もう一つはストレスの解消もない訳ではありません。群馬県の室川温泉、秋田県は玉川温泉、泥湯温泉、そして乳頭温泉鶴の湯、青森県は日本海の波打ち際にある黄金崎不老不死温泉、新潟県は上杉謙信の隠し湯とも言われる奥湯沢の貝掛温泉などなど。そしてこれらの温泉は団体旅行ではなかなか味わうことの出来ない秘湯ならではの趣があり、リゾートの多いのにも驚かされました。

露天風呂に浸り星空を眺め、あつた時は海に沈む夕日にしばし心奪われ、湯上りに旬の料理、地酒でもあれば旅の疲れも何処へやら。これが本当の湯め気分。団体旅行ともなるとそれなりに気も使います。そういった意味ではプライベートの秘湯の旅はこれからも続くのではないかと思います。そしていつかは孫も連れて行ってみたいと思います。

次は、栗原順一さん(富田字楢木田)にバトンタッチ!

郡山高等技術専門学校(テクノカレッジ郡山) 能力開発課 ☎024-944-1663 FAX024-943-7985 URLhttp://www.tck.ac.jp/

●放送大学で学んでみませんか 放送大学はテレビ・ラジオで授業を行う通信制大学です。さまざまな年代や職業の人たちのニーズに応える科目を360以上用意しています。大学や大学院の授業科目を1科目から気軽に学べるチャンスです。この機会に放送大学で学んでみませんか。問い合わせ・詳細・放送大学福島学習センター

(郡山女子大学内) ☎024-921-7471

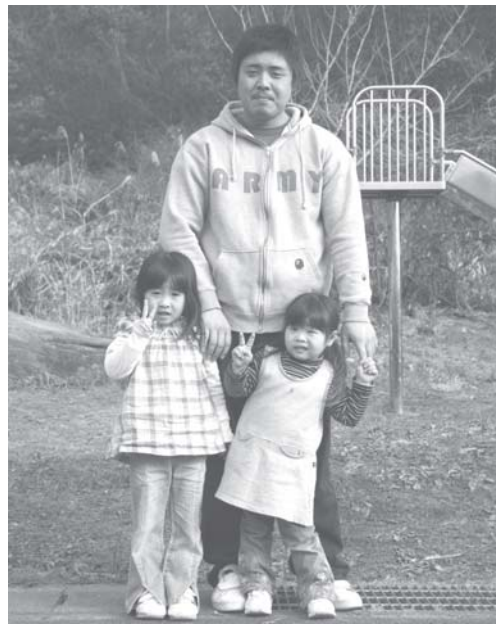
●2006福島県民手帳を頒布しています 村企画調整課では、福島県統計協会発行の「2006福島県民手帳」、「福島県のすがた」、「福島県勢要覧」を頒布しています。希望される方は代金持参のうえ村企画調整課でお求めください。▶「2006福島県民手帳」/頒布価格…500円(税込)/内容…見やすい月間予定表と日記編、最新の統計資料、日常生活に役立つ便覧(県内の主な行事、年齢早見表、県機関一覧など)▶

「福島県のすがた」/頒布価格…380円(税込)/内容…福島県のすがたをグラフで見やすく表示。県内市町村の主な統計資料を掲載▶「福島県勢要覧」/頒布価格…1,500円(税込)/内容…県勢全般が分かる総統計書。県内市町村の最新統計資料を網羅/頒布期間…平成17年12月1日(木)~平成18年2月28日(火)まで/問い合わせ…村企画調整課企画振興係 ☎49-3115

地域の催しの案内、仲間づくりの呼びかけなど、掲載希望記事を募集しています。詳しくは総務課広報担当まで

過疎化が進んでいますが、若い人ががんばっていますね。

「仕事はどんなことをしていますか？」
 鮫川運送(株)で、フォークリフトを使って荷物の管理をしています。
 「仕事で心がけていることはありますか？」
 荷物を間違えないで出・入庫することを心がけていますね。
 「休日はどんな風に過ごしていますか？」
 買い物に行ったり、子どもとレジャーを楽しんでいますね。
 「これからしてみたいことはなんですか？」
 子どもを連れて家族旅行(沖縄)に行ってみたいです。
 「現在の村についてどう思いますか？」
 過疎化が進んでいますが、若い年代が結構がんばってやっています感じがします。
 「村について望むことはありますか？」
 子どもが遊べる空間(アスレチック)があればいいですね。
 次は山本寿夫さん(赤坂西野字大塩の予定)です。



ゆざ かずみ
湯座 和実さん (26歳)
 [赤坂中野字東前田在住]

誕生月 昭和54年2月
 血液型 B型
 星座 うお座
 趣味 車観賞、カラオケ
 性格 負けず嫌い

学校だより

(第14回)

鮫川小学校 編
 塙馨 校長
 児童231名

自由参観日

鮫川小学校では、統合以来、十一月一日から七日までの「ふくしま教育週間」に合わせて、自由参観日を実施しています。都合のよい時間に自由に学校内を参観することができます。保護者の方々はじめ、祖父母の方々や村民の方々など、年々参観してくださる方が増えてきているのは嬉しいことです。

さめっ子フェスティバル

十一月十九日(土)に、今年もさめっ子フェスティバルが実施されました。
 体育館での全員そろってのオーピングでは、実行委員長の遠藤明日香さん(六年)の開会宣言の後、各学年の発表紹介、全校合唱の「ピ



(文・写真) 鮫川小学校

さめっ子フェスティバル

第9回村子ども俳句・短歌・詩のコンクール 最優秀賞受賞作品紹介

村青少年健全育成推進協議会(会長・奥貫洋村教育長)と東白川郡校長協議会鮫川班主催の「第九回鮫川村子ども俳句・短歌・詩のコンクール」の審査会は十月十八日に村公民館で開かれました。

コンクールには、村内の小・中学生が各部門(俳句・短歌・詩)に百五十点の作品を応募。厳正な審査の結果、次の十一作品が最優秀賞に選ばれました。

表彰は、十一月三日に行われた

俳句の部

雨あがり空にかかるよにじのはし
 鮫川小三年 菊地 舞
 おいこみの宿題じゃまするせみの声
 鮫川小四年 芳賀瑠里穂
 あとすこし算数ノートとにらめっこ
 鮫川小四年 松崎 芳人

夏になり夜は花火ときもだめし
 鮫川小六年 小林 大起
 時に来る夏の夕立ち恵みかな
 鮫川中一年 大竹 涼

秋風にゆれるすすきのダンスショー
 鮫川中二年 須藤 柚樹
 ばあちゃんのトマトに光る熱い汗
 鮫川中三年 矢吹 友美

短歌の部

夏祭り 夜空に開く花火見て 夏の思い出目に焼き付ける
 鮫川小五年 増子 成美
 ひぐらしよ おまえがなくのはだれのためなつよゆくなとないているのか
 鮫川中二年 戸室 優佳

詩の部

花火
 鮫川小二年 岡部 望弥
 花火の日には
 ゆかたがきられる
 今日の花火
 つれて行ってもらえるのかなあ

おかあさんに聞いてみた
 「今日行って行ってくれる？」
 しゅくだいやっていないから
 だめだって
 せっかくならばあちゃん
 させてくれたのに・・・
 こんなことなら
 やっておけばよかった・・・
 でも行って行ってくれるって
 こんどはちゃんとやっておこう
 花火の音がどかんと
 こころにひびいた。

ボカボカ

鮫川中三年 白石明日香
 暖かい春の日差し ボカボカの風
 寒い日に飲むココア ボカボカの体
 友達の優しい笑顔 ボカボカの笑み
 家族のめいっばいの愛 ボカボカの心
 寒い冬も涙でぬれたつめたいたいほほも
 いつも私の心をつつむのは
 ボカボカとそよぐあたたかいもの
 自然から 物から 人から 愛から
 ボカボカ ボカボカ
 そして今日も私の身体は
 ボカボカといっぱい



奥貫会長から賞状を手渡される受賞者

役場の電話番号
0247-49-3111 (代表)

- 【直通電話番号】
- 総務課 49-3111 FAX 49-2651
 - 住民福祉課 [住民係] 49-3112 [健康係・福祉係] 49-3113 FAX 49-2651
 - 農林課 49-3114 FAX 49-2112
 - 企画調整課 49-3115 FAX 49-3363
 - 地域整備課 [建設係] 49-3116 [環境係] 49-3196 FAX 49-3363
 - 農業委員会 49-3197 FAX 49-2112
 - 議会事務局 49-3198
 - 出納室 49-3199

- 【その他の機関】
- 教育委員会 49-3151 FAX 49-3152
 - 図書館 (FAX兼) 29-1150
 - 公民館 49-2247
 - 農業者トレーニングセンター (FAX兼) 49-3295
 - 学校給食センター 49-2113
 - こどもセンター (鮫川保育園・鮫川幼稚園) 29-1010 FAX 29-1012
 - 保健センター 29-1231
 - 国保診療所 49-2028
 - ほっとはうす・さめがわ (FAX兼) 48-2555
 - 「手・まめ・館」 49-2556 FAX 49-2445

今月の納期
12月26日(月)
村県民税 第4期
国民健康保険税 第7期
介護保険料 第7期

教育

図書館の臨時開館について

図書館では、子どもたちの長期休暇(冬休み)に合わせて臨時開館します。
臨時開館日 12月23日(祝)、12月26日(月)、12月28日(水)、1月9日(祝)の4日間
■問い合わせ 村図書館 ☎29-1150 村教育委員会教育課 ☎49-3151

子ども映画上映会開催

主催 村教育委員会
日時 12月11日(月) 午前10時30分～正午(上映時間90分)
場所 村公民館「大集会室」
上映映画 長編アニメーション映画「ハードル」(子どもたちの心の声を描いた物語)
■問い合わせ 村教育委員会教育課 ☎49-3151

案内

最低賃金が改正されました

福島県内の事業所で使用されるすべての労働者(パートタイマー、アルバイトを含む)に適用される最低賃金が改正されましたのでお知らせします。

最低賃金(産業)名	最低賃金額(1時間)	効力発生年月日
福島県最低賃金 ※下記の5産業を除く全産業	614円	10月1日
非鉄金属製造業	720円	12月1日
電気機械器具製造業 情報通信機械器具製造業 電子部品・デバイス製造業	680円	
輸送用機械器具製造業	714円	
精密機械器具製造業	708円	
自動車小売業	707円	

■問い合わせ 福島労働局賃金室 ☎024153614604

税務

「税に関する作文」コンクール 鮫中生2名入選

税に関する理解を深めてもらうと毎年行われている中学生の「税に関する作文」コンクールの表彰伝達式が十一月二十二日、鮫川中学校校長室で行われました。



受賞を喜ぶ生田目さん(左端)、藤田さん(左から2人目)

今年度は、県南地方振興局長賞に生田目愛弓さん(三年)の作品「税金が笑顔を作る」が、白河地区納税

貯蓄連合会長賞に藤田睦美さん(三年)の作品「税金との関わり」が選ばれました。式では、斉藤県南地方振興局長から生田目さんに、武田白河地区納税貯蓄組合副会長から藤田さんにそれぞれ表彰状、記念品が贈られました。

12月・1月は 村税完納推進期間です

村では、毎年12月1日から1月31日までの2カ月間を「村税完納推進期間」と定め、村税の完納運動を進めています。

村県民税(第4期)、国民健康保険税(第7期)および介護保険料(第7期)が今年度最終の納付となります。村税など未納のある方はこの期間に完納されますようご協力をお願いします。納税についての相談も随時受け付けていますので、お気軽にご相談ください。

■問い合わせ 村総務課税務係 ☎49-3111

◆お知らせ2

「国有林モニター」募集

林野庁関東森林管理局では、国有林に関心のある成人を対象に、平成18年度「国有林モニター」を次により募集します。
募集人員 70名
モニター依頼期間 平成18年4月から平成19年3月まで
応募資格 国有林に関心のある成人(議員、首長、国家公務員などは除く)
応募締切 平成18年1月31日(火)
■問い合わせ 棚倉森林管理署 ☎33-3111/FAX33-3113

県南農林事務所農業普及部内に 原油価格高騰に伴う営農相談窓口を設置

長引く原油価格の高騰により、燃料価格の上昇や石油関連製品などが上昇し、農業経営にも影響を及ぼしています。このため県南農林事務所では、原油価格高騰に対応する営農相談窓口を設け、営農に関する相談を受け付けています。今後の営農に関する相談がありましたら農業普及部ま

でお問い合わせください。

■問い合わせ 福島県県南農林事務所 農業普及部 ☎0248-23-1563

NTT東日本発行の電話帳を配達・回収します

NTT東日本福島支店では、12月中旬に順次、新しい電話帳(平成18年1月発行)を各家庭・事業所にお届けします。その際、現在使用されている電話帳と新しい電話帳を取替えますので配達員へお渡しください。なお、配達員に古い電話帳を渡せなかった場合は、後日改めて回収に伺いますのでタウンページセンタまでご連絡ください。
■問い合わせ タウンページセンタ ☎0120-506-309/NTT番号情報株式会社東北支店 ☎022-791-0204

アンケート記入にご協力をお願いします

東白川農商高等学校鮫川分校(池田健一郎分校長)では、分校における教育活動や学校運営が、生徒たちにより良いものとなるため、また、地域

の皆さんが望むものとなるために、昨年度に引き続きアンケート調査を実施します。

皆さんの貴重なご意見を今後の教育活動の参考とするため、アンケートの記入にご協力をお願いします。

回答方法 回答用紙(組長さんを通して配布します)に記入し、組長さんに届けてください。組長さんは区長さんまで提出してください。

提出期限 12月15日(木)

■問い合わせ 東白川農商高等学校鮫川分校 ☎49-2029

対象犯罪	発生件数	累計
空き巣	0	2
忍び込み	0	0
出店荒らし	0	1
事務所荒らし	2	4
ひったくり	0	0
車上ねらい	0	3
無施錠	0	0
ガラス破り	0	2
鍵穴破壊	0	1
自転車・バイク	0	0
その他	0	0
自動販売機ねらい	0	1
部品ねらい	0	0
自動車盗	0	0
オートバイ盗	0	0
自転車盗	2	11

発生件数：10月22日～11月21日
累計：1月1日～11月21日

●寒さも厳しさを増してくる季節になりました。犯罪の未然防止のためにおかしな人や不審な車に気付いた際には早期通報をお願いします。

◆いきいき健康通信

文/村住民福祉課健康係 中川西ミユキ栄養士

「かぜ」に負けない体をしつくりまじょう

寒い季節になりました。「これからの季節特に注意したいのがかぜです。『かぜは万病のもと』と言われるように、さまざまな病気を引き起こす原因にもなります。特に、体力が低下している人や乳幼児、高齢者は体の抵抗力が弱いため、悪化すると気管支炎や肺炎を引き起こすようになりますので、ひかさないよう予防を心がけまじょう。

■かぜの原因と症状
原因 80%はウイルスによるものといわれ、その数は200種類以上もあるといわれています。
症状 鼻水、喉の痛み、発熱、頭痛などがあり、ウイルスの種類や、体の抵抗力の状態により異なります。

■かぜを予防するための対策
かぜを予防するには、健康の3本柱である栄養・運動・休養をバランスよく整えることが、ウイルスの侵入を防ぐことが大切です。

- ①栄養
●油類類とビタミンAを一緒に摂りまじょう。
寒くなるこの体の中で摂取した食べ物やエネルギーに変え、体を暖めまじょう。そこで少量で十分なエネルギーになる油脂類を上手に摂り入れ、併せて、体に抵抗力をつけ、口や鼻の粘膜を丈夫にするビタミンAを同時に摂る事により、より吸収が良くなります。かぼちゃ、春菊、にんじんなどの色の濃い野菜を炒め物や天ぷら、ポタージュ(スープ)などの料理方法で食べまじょう。
- たんぱく質をたっぷり摂りまじょう。
たんぱく質は寒気に対する抵抗力を強め、体を暖かくまじょう。不足すると体力が落ちてまじょうので、不足しないように毎食食べるようにしましょう。「これからの季節は秋に収穫した大豆などがお勧めです。目安：1日に大豆2杯その他1食につき魚肉80g、卵1個のいすれかを摂りまじょう。

●「タンパク」体のバランスを整えまじょう。
タンパク質は体のバランスを整え、免疫を強くまじょう。冬は白菜、ねぎ、れんこん、大根、さつまいも、みかん(2個で1日分のビタミンCが補えます)などビタミンCを多く含む食材があります。「わりを鍋物やけんちん汁などたっぷり摂りまじょう。

- ②運動
●かぜに負けないように体力をつけまじょう。
冬は体の機能が低下する中でも運動不足になりがけです。毎日できる運動をはじめ、冬は体を鍛えまじょう。天気の良い日はウォーキング(30分位)、天気の悪い日はステップ運動(10、20秒の台の上り下りを20分位がお勧めです。(ステップ運動)について知りたい方は住民福祉課 ☎49-3113へお問い合わせください。
- ③休養
●十分な睡眠をとまじょう。
寝不足が続くと疲労が残り、抵抗力が弱くなるため、かぜのウイルスが侵入しやすくなります。

- ④ウイルスの侵入を防ぐために
●外から帰ったあつがいて手洗いの習慣を身につけまじょう。
外から持ち込んだウイルスを洗い流すために、また、空気中のウイルスを体の中に入れないために、手洗いと水でのうがいが効果的です。
- かぜをひいてしまったら
かぜの予防はしていても体が疲れていて抵抗力が弱まっているかぜをひきやすくなります。もしかぜをひいたら、
①暖かくして寝る。②安静にする。③食事に注意する。④水分を多くとる。⑤大切です。
特に食事では、かぜの予防対策の栄養部を再度見直し、かぜをひかないような生活を送りまじょう。

●お誕生おめでとうございます

(10月届け出分・敬称略)



ふなき れお
舟木 玲王・男
平17.10.2生
住所…茅
保護者…副善・則子



ふじた さき
藤田 紗輝・女
平17.10.6生
住所…青生野
保護者…孝之・美由紀

●おくやみ申し上げます

(10月届け出分・敬称略)

住所氏名	月日	年齢
赤柴 関根 三夫	10.14	73歳
青生野 大森ヨシイ	10.15	66歳
虹ヶ沢 石井 正子	10.19	23歳

●人の動き 11/1現在・()は前月比

人口 **4,506** 人(+3)
男 **2,242** 人(+1)
女 **2,264** 人(+2)
世帯 **1,118** 戸(-2)

●寄付・寄贈 (10・11月受理分・敬称略)

■社会福祉事業のために[金員]…関根マリ子(赤柴)、有限会社平成クリーンサービス代表取締役藤田圭希(棚倉町)[写真]



「日頃お世話になっている鮫川村の社会福祉に役立ててください」と話す藤田さん(右)

■豆で達者な村づくり事業のために[味噌用豆すり機]…小平昭二・勝江(古殿町田口)



「新聞の記事を読みました。ぜひ村の味噌づくりに役立ててください」と話す小平さん夫妻

※お誕生・おくやみ・寄附欄への掲載を希望されない方は、届け出の際に申し出てください。

●編/集/後/記

■先月6日に「手・まめ・館」がオープンしました。館内にはみなさんが、心を込めて作った農産物、加工品が並びます。勢ぞろいした品物を見て、村には資源がいっぱいあることを改めて感じました。村の元気が集まる「手・まめ・館」をぜひご利用ください。(緑川)

12 生活情報カレンダー
月1日～1月7日

※行事などの日程は都合により変更になる場合があります。

日	月
4	5
11	12
18	19
25	26
1/1 元旦	2 振替休日

◎=休日当番医

Book

図書館の缶詰

図書館からおすすめの本をご紹介します
鮫川村図書館 ☎29-1150



大人の友情 (河合隼雄 著/朝日新聞社)
日本は今、物質的に豊でそれを維持するために人々は忙しすぎて、ギスギスしたりイライラしています。人生を癒し支え、人と人との間の潤滑油となる「友情」の大切さを認識させられる本。



なんとかなるって! (ブリジット・ベスキース 作、大澤晶訳/ほるぷ出版)
みーんなうまくいかない。味方はおぼあちゃんだけ。老いへの恐怖にとりつかれた思春期の少女が多くの人と向き合うことで成長していく物語。

火	水	木	金	土
		12/1 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●肺がん(喀痰)検診…①9:00～9:30/渡瀬区集落センター②10:30～11:00/青生野集落センター③13:00～13:30[保]	2 ●栄養教室・健康相談会…10:00～15:00/塩倉集落センター	3 ●お遊戯会[こ] ●さめがわ夢づくり起業塾(第1回)…13:30～16:00/役場「正庁」
6 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	7 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●栄養教室・健康相談会…10:00～15:00/赤坂西野区民センター ●おはなしの森…16:00～16:30[図] ●社会学級第8講座および閉級式…10:00～14:00[公]	8 ●リハビリ教室…10:00～15:00[保]	9	10
13 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	14 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●栄養教室・健康相談会…10:00～15:00/塚本ふれあいセンター ●おはなしの森…16:00～16:30[図] ●ふれあいおはなし会…10:00～10:30[図] ●思春期ふれあい体験学習…13:30～15:20/鮫川中	15 ●10カ月児健診…10:00～[保]	16 ●栄養教室・健康相談会…10:00～15:00/切払集会所	17 ●さめがわ夢づくり起業塾(第2回)…13:30～16:00/役場「正庁」
20 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●農業委員会総会 ●心配ごと相談…13:00～15:00[公] ●教育委員会	21 ●社会復帰支援事業(やまぶきの会)…10:00～15:00[保] ●おはなしの森…16:00～16:30[図]	22 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●各小中学校・幼稚園終業式	23 天皇誕生日 ◎あらまちクリニック(棚倉町) ☎33-8018 車田病院(埴町) ☎43-1019	24 ●チャレンジスクール「スケート教室」
27	28 ●仕事納め	29 ●図書館休館日	30 ●図書館休館日 ◎石川中央病院(石川町) ☎26-2024	31 ◎杉山胃腸科外科皮膚科(棚倉町) ☎33-7551 東館診療所(矢祭町) ☎46-3165 ●図書館休館日
3 ◎埴厚生病院(埴町) ☎43-1145 ●図書館休館日	4 ●仕事始め ●村消防団出初め式 ●図書館休館日	5	6	7

[公]=公民館 [保]=保健センター [図]=図書館 [トレセン]=農業者トレーニングセンター [ほ]=ほっとはうす・さめがわ [こ]=こどもセンター

西山のイチイの話

(文・切り絵 中井恒峯)

むかし、むかし西山のあるところに働き者の若い人たちが住んでいました。若者たちは毎日山に行って薪取りをしていました。

の力がなくなったからです。「まえには山に行けばいくらでも薪にふさわしい木があったのに」

「どうしたら良いのだろうか」「どうしようもないねえ」

と若者たちは考えていました。



そのうち若者の一人が言い出した。

「山の神様に頼んでみよう」

「それがいい」

そしてみんなで山の神様を

拜むことになりました。

若者たちは貧しい中にもしつかり者だったので、重箱に

料理を入れて酒も持って山に入りました。そして山の頂

上に登って手を合わせて拜み

ました。

「どうか山の木が育ち、薪が

取れますように」

するとどこからともなく声

がして、一人の山の神が現れ

て言いました。

「若者たちよ、今日は何を祈

願したのかな」

若者がびくくりして顔を上げ

て目を開けると、立派な白

いひげをはやした山の神が立っ

ていました。若者たちは、

「山の神様、山が豊かになるようにお願いします」

「そうかそうか」

と山の神はうなずき、

「お前たちは立派な若者だ。

拜んでくれたお礼にこれをあげよう」

と木の苗を沢山くれました。

若者たちは喜んで家に帰り、

木の苗を植えました。

このときに植えた苗木の一部が今も県指定天然記念物となっていて、西山字宝木にある「西山のイチイ」だそうです。西山のイチイは雌雄二本ですが、イチイは深い山に自生し、葉はとがって細長いので、悪魔を防ぐと言われ、昔から身分の高い人の正式の服装「束帯」のときに手に持つ笏の材料となっていました。また、イチイは「二位」と読めるため、第一の意味で喜ばれ、別名はアララギとい

います。

(福島史談会長・広畑出身)

※この話は、筆者が村を訪ねた際に民話などを採話し作られたものです。